

日本高専学会 2024年度 第1回理事会 議事録

日 時 2024年6月1日(土) 13時00分～13時40分、
6月2日(日) 9時00分～11時30分

場 所 大阪公大高専

出席者：会長 山下哲(木更津高専)

理事 梶間由幸(米子高専)、江原史朗(宇部高専)、北野健一(大阪公大高専)、鈴木昌一(鈴鹿高専)、土井智晴(大阪公大高専)、松本高志(阿南高専)、吉本弥生(岡山県立大学)

6月1日出席 宇野宏司(神戸高専)、船島洋紀(近大高専)

6月1日オンライン参加 出口智昭(有明高専)

1. 事務局

(1) 2024年度(第30回)総会

7名の委任状受理の報告があり、議案書について確認を行った。

(2) 研究会の設置について

研究会について1件申請があり、理事会として認め、総会で審議を行うこととした。

・KOSEN プロフェッショナル・コミュニケーション研究会 代表：山田朱美(津山)

2. 学会誌編集委員会

学会誌29巻2号を、国際交流・海外展開を特集テーマに4月末に発行したこと、学会誌29巻3号 論文特集号を7月末に発行予定であることが報告された。10月末に発行予定の学会誌29巻4号の特集テーマについて意見交換を行い、高専を支える企業について原稿依頼を検討していくこととなった。

松本理事より、国立高専機構の教員スキルマップについて情報提供があり、教職員のFD、SDについて意見交換が行われた。教職員のFD、SDについては、30巻4号で特集テーマとなるか編集委員会で検討することとした。

次期理事会の編集委員会について、関東地区または九州地区で受け持つことが可能か確認することとした。

高専学会の20周年記念事業で20年分の学会誌を電子化して会員に配布し、その後、販売している(1冊20万円)。21回以降の10年分のデータについて、30周年記念事業として電子化することについて意見交換を行った。

3. 論文審査委員会

査読の状況について報告があった。投稿規定に関する意見交換が行われた。

4. 表彰選考委員会

活動奨励賞の応募状況について報告があった。

5. 企画委員会

令和5年度研究助成報告書の提出について報告があった。研究助成制度の申請件数が少ないことから、申請期間を早め、年会講演会で案内できるように準備を進めることとした。

2025年度年会(会場：大阪公立大学高専)の準備状況について報告があった。

6. 財務委員会

入退会報告があった。

2023年度会計監査において、旅費について詳細情報の添付について要望があったことから、

意見交換を行った。理事は会計担当の旅費を申請する際に、経路や金額がわかる資料を作成し提出することとした。

会費滞納者への対応について確認を行った。

会計担当理事の業務分担、担当者の数について意見交換を行った。

7. 年会実行委員会

年会講演会の使用教室について確認を行った。

8. 広報委員会

第30回年会講演会の参加・発表申し込みページ、第30回総会開催ページの作成、EBSCO社 学術論文データベース登録に関する報告があった。